

昭和二年一月十八日開催第六回評議員會にて決定せり。

(九)兵 庫 出張所閉鎖

組合の紹介は昭和二年三月三十一日限り廢止し、海事協同會に引き繼ぐ事になりたる關係上、從來紹介専用の兵庫出張所は三月三十一日限り、自然閉鎖する事となり。

對外的事項

(一)政 治 問 題

新興無産政黨に對し組合は如何なる態度を執るべきかに就きては、第五及第六の兩回に亘り評議員會にて審議したる結果、(イ)組合は社會の現狀に鑑み、從來の自重的態度の下に漸進的に着實なる政治運動を行ふ(ロ)組合は組合の主義及運動に一致せざる政策及綱領を實施せんとする無産政黨に参加せず(ハ)組合は政治運動に参加せんとする組合員に對し個人の資格に於て社會民衆黨に加入する事を勧誘す可決したり。尙此決議に基づき三月十日横濱に於て社會民衆黨支部創立され、組合顧問岡崎憲君支部長となり。神戸に於ても目下組合顧問堤良明君を中心に支部創立準備中なり。

(二)海 洋 統 一 協 會 合 同

組合に前後して創立されたる海洋統一協會は、爾來組合に對抗的態度を執り來りしが、此二大海員團體が打つて一九二三年に非ざれば、海員の福利を増進し海上労働問題を眞に徹底的に解決する事は到底不可能なりとの機運兩團體幹部及會員間に生ずるに至り、民潮新報社長瀧口傳君此間に斡旋するに至り此機運は急激に促進せられ、兩團體夫々制限ある決議機關(組

合は第四回評議員會)の承認を経て、大正十五年十月二十八日午後四時組合三階大廣間に於て、兩團體幹部及來賓列席の上海洋統一協會の海員組合への合同式は目出度く舉行され、茲に二大海員團體は完全に一團體の下に統一されたり。

(三)全 國 組 合 會 議 の 件

日本労働組合評議會の主旨による全國組合會議に海員組合が参加するや否やは、大正十五年六月十五日開催第一回評議員會に於て審議したる結果、其勧誘趣旨には賛成なるも實際問題として組合内外の事情に鑑み今直ちに参加する事は不可能なる旨決議し其旨回答せり。

(四)右 翼 聯 盟 の 件

日本労働總同盟の主旨による右翼聯盟結成に對する組合の態度につきましては、大正十五年八月十四日開催の第二回評議員會に於て審議せる結果、組合は其勧誘趣旨に賛成し、實行方法は最高幹部に一任する旨決議せり。

(五)朝 鮮 海 員 同 盟 と の 關 係

朝鮮海員同盟委員長柳春聲君は昭和二年二月二十一日組合を訪問し今後日鮮海員團體の提携を提唱せり。

(六)東 郵 合 併 問 題

東洋汽船會社は海運界の不況に社運挽回の爲め、八隻の客船を日本郵船會社に賣却する事となり、其引き渡はは三月中旬横濱入港の天洋丸を以て開始され、六月八日入港の樂洋丸を以て終了せるが、其間乗組員に對する退社手當及失業問題等複雑せる事情介在せるを以て、組合よりは各船入港毎に濱田副組合長上濱し斡旋したる結果、下船組合員は大部分郵船會社にて繼續採用する事となり。此間組合の分裂動搖を企劃する事を常習とする海員刷新會一派は、種々の中傷流言を宣傳して其